

やぶぎ



令和2年
189号

令和2年11月1日発行
第422回 9月定例会

議会だより



- 9月定例会 p 2
 - 令和元年度決算認定
 - 関連質疑
- 令和2年度各補正予算 p 4
 - 条例 意見書 賛否表
- 町政を問う (11名による一般質問) p 6
- 放射性汚染水反対意見書 p17
 - 人事案内／読者の声

福島県大会 優勝

ALL矢吹スポーツ少年団の皆さん

決算を認定!

9月定例会



定例会のあらまし

9月定例会は、9月11日より9月24日まで14日間の会期で開催されました。

町長より提出の令和二年度一般会計補正予算、条例の制定及び改正などの議案8件、令和元年度決算認定8件、発議2件、陳情1

件について審議しました。また、教育委員会委員の任命と人権擁護委員の推薦に同意しました。

14日より三日間で、11名の議員が登壇し、町政についての一般質問が行われました。さらに、総務教育・産業

民生の両常任委員会及び第一・第二予算特別委員会に議案が付託され、17日から二日間、関係各課の説明を受け審議し、9月24日の本会議において、各委員会の報告を受け審議した結果、全ての議案、認定、発議、陳情等が可決及び認定されました。

認定第1号 「令和元年度矢吹町一般会計歳入歳出決算認定」が17日の第一予算特別委員会で不認定となった結果24日の本会議で質疑及び討論がなされ、採決をとりました。

【反対討論】

安井 実質5億4千万ほどの黒字決算に際し、一般会計から繰り出しをし、国民健康保険税の負担軽減や生活道路などのインフラ整備に充てて欲しいという観点から不認定です。

の中で宝物のようにお金が入ってきたわけで、特別交付税についての算定の問題が懸念されるので不認定。

【賛成討論】

富永 国民健康保険税の納付困窮世帯に対して所得に応じて減額の制度もありますし、各種事業において適切な執行がなされていると判断し認定すべきです。
関根 いつ起こるかかわからない災害等への対策費として蓄えていくことも町民福祉に貢献するものと思われま

る当町において、将来への希望を繋いでくれた事に私は感謝し、賛成致します。

堀井 令和元年度の現道舗装が少ないという意見ですが、私はそうは思わず、賛成です。

熊田 昨年の台風19号災害に際し、町長並びに職員の皆さんが、血の滲む努力をして得た貴重な財源です。決算が出たから返すなどの声は信じられず、賛成致します。

採決の結果 賛成多数により認定。

青山 災害という不幸

す。財政難と言われ

会計別決算額

(1万円未満切捨て、△はマイナス)

会計名		歳入	歳出	差引
一般会計		95億1408万円	83億1025万円	12億0383万円
特別会計	国民健康保険	18億3931万円	17億7450万円	6481万円
	公共下水道事業	5億6208万円	5億6082万円	125万円
	土地造成事業	37万円	0万円	37万円
	農業集落排水事業	3億6590万円	3億6483万円	106万円
	介護保険	14億9137万円	14億5639万円	3497万円
	後期高齢者医療	1億7887万円	1億7879万円	7万円
一般特別会計合計		139億5201万円	126億4561円	13億0639万円
水道事業会計	収益的収支	3億9790万円	3億8758万円	1212万円
	資本的収支	1億4872万円	2億4063万円	△9190万円

不足額の9190万円は当年度分消費税調整額958万円、過年度分損益留保資金8232万円で補填しました。

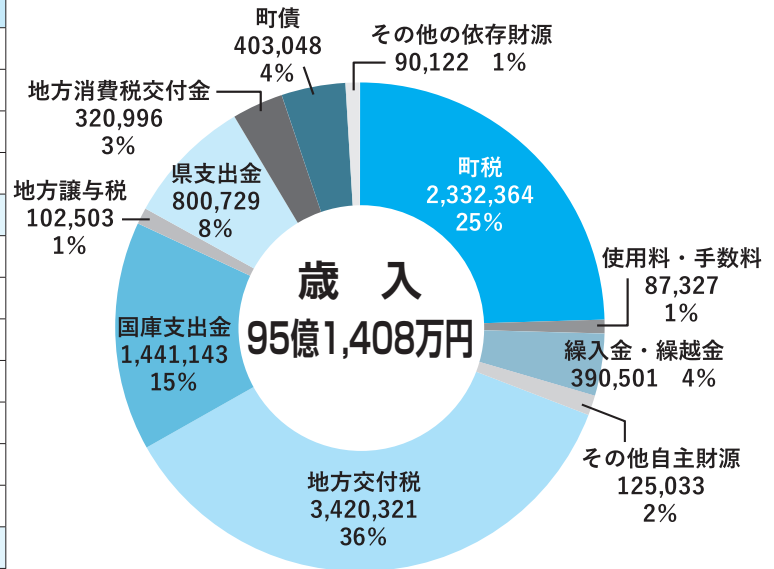
令和
元年度

すべての会計



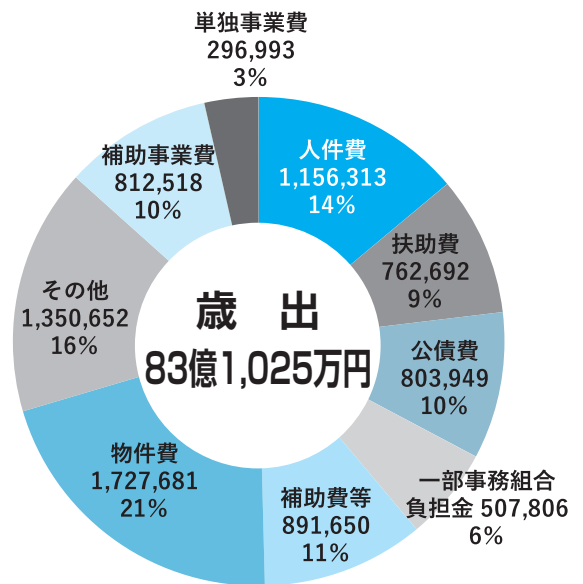
一般会計【歳入】

区分		(単位：千円)
自主財源	町税	2,332,364
	使用料・手数料	87,327
	繰入金・繰越金	390,501
	その他自主財源	125,033
	小計	2,935,225
依存財源	地方交付税	3,420,321
	国庫支出金	1,441,143
	地方譲与税	102,503
	県支出金	800,729
	地方消費税交付金	320,996
	町債	403,048
	その他依存財源	90,122
	小計	6,578,862
	合計	9,514,087



一般会計【歳出】

区分		(単位：千円)
義務的経費	人件費	1,156,313
	扶助費	762,692
	公債費	803,949
	一部事務組合負担金	507,806
任意的経費	補助費等	891,650
	物件費	1,727,681
	その他	1,350,652
投資的経費	補助事業費	812,518
	単独事業費	296,993
	小計	1,109,511
合計	8,310,254	



歳入歳出差引額	1,203,832
---------	-----------

委員長
副委員長

第一予算特別委員会

熊田 三村 鈴木 藤井 鈴木 関根
正浩 源隆 貴将
宏一 一喜 将

委員長
副委員長
委員

第一予算特別委員会

安井 青山 加藤 堀井 高久 富永 芳賀
敬博 英樹 宏成 美秋 創慎



令和2年度 補正予算

議案第41号 令和2年度矢吹町一般会計補正予算

○一般会計補正額 8億3,397万円

主な補正財源（歳入）

・地方交付税	9,269万円
・国庫支出金	3億3,580万円
・県支出金	1億3,112万円
・繰越金	2億5,000万円
・町債	1,096万円

◎予算総額 109億6,885万円

主な使いみち（歳出）

・決算剰余金にかかる公共施設等整備基金積立金	5,500万円
・高度情報化推進事業（電算処理業務委託料等）	1,841万円
・新生児応援給付金等	1,275万円
・待機児童解消加速化（小規模保育事業所整備）	7,140万円
・商工振興費（くらし応援商品券等）	1億9,280万円
・総合運動公園用地取得費の繰上償還	2億2,020万円
・教育情報化推進事業（ICT機器購入）	8,208万円
・令和元年度台風災農地農業用施設災害復旧工事	2,505万円

議案第42号 令和2年度矢吹町国民健康保険特別会計補正予算

○補正額：歳入歳出 661万円

◎補正後の額：歳入歳出 17億5,930万円

・理由 県事業費納付金額の確定による財源調整

議案第43号 令和2年度矢吹町水道事業会計補正予算

○補正額：収益的収入 200万円

◎補正後の額：収益的収入 4億 875万円

○補正額：収益的支出 200万円

◎補正後の額：収益的支出 4億3,970万円

・理由 水道施設長寿命化計画策定業務委託料への組替えと追加

令和2年度 補正予算

主な質疑内容

《企画総務課》

問 高度情報化推進費は開発費か、毎年の委託料か。

答 ファイルサーバの構築に係る費用となっている。テレワークに対応するグループウェアについても計画している。

《保健福祉課》

問 あゆり温泉の休憩室はいつオープンになるのか。

答 近隣市町村の状況を踏まえ再開していく。

問 マスクは相当数の寄付があると思うがどうしているか。

答 医療機関に相当数を贈呈している。

《都市整備課》

問 社会資本整備総合交付金事業、臨時地方道路整備事業の施工箇所、河川浚渫工事の場所はどこか。

答 道路関係については別途資料を準備します。

問 河川浚渫工事は、阿由里川を5年間の事業で施工する予定。

《教育振興課》

問 スポーツ振興くじ助成金はどのようなものか。

答 矢吹スポーツクラブに対するトोटコの助成金です。

《子育て支援課》

問 福島県小規模保育事業所設置促進事業補助金について、動きはあるのか。

答 問い合わせをいただいている団体が1事業所ある。

問 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金について調査したところ、人件費に充てることもできる内容だが対応はどうか。

答 町内の保育施設4施設が対象であり、児童クラブと同様にICT関係に充てる計画である。人件費へ充当することも検討する。

議案第40号

第6次矢吹町まちづくり総合計画後期基本計画

重点プロジェクトについて

公共交通推進事業

高齢者が地域の中で安心して元気に生活できるよう、高齢者の交通手段の確保に努めます。

企業誘致促進事業

企業誘致により雇用の確保を図り、財政基盤の強化に取り組みます。

待機児童解消加速化事業

官民連携により待機児童の解消に取り組み、子育てしやすい町、選ばれる町を目指します。

学校給食運営事業

保護者の負担軽減を図り、未来を担う子供たちを支援することで、安心して子育てできる町づくりを目指します。

（仮称）新田園都市構想事業

旧総合運動公園用地の利活用を含め、デジタル社会の対応を見据えた新たな田園都市づくりに取り組みます。

条例審査

議案第36号 矢吹町手数料条例の一部を改正する条例

本案は、マイナンバーを通知する通知カードが廃止されることに伴い、当該通知カードの再交付に係る手数料に関する規定を廃止するもの。

議案第37号 矢吹町立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例
 本案は、国の無償化制度に先行して実施していた町独自の幼稚園預かり保育料の一部無償化について、令和2年度より国の制度に移行するため改正するもの。

議案第38号 矢吹町営住宅条例の一部を改正する条例

本案は、災害復興住宅の一般公募に向け、「災害公営住宅に空き住戸が発生した場合の対応方針について」の

方針に基づき、段階的に募集拡大するため、及び「公営住宅法等」の改正に伴い条例の一部を改正するもの。

議案第39号 矢吹町複合施設条例

本案は、地方自治法第244条第1項の規定に基づき、東日本大震災により甚大な被害を受けた中心市街地に賑わいと活気を取り戻し、震災からの復興の町複合施設を設置するために条例を制定するもの。

陳情審査

陳情第5号 福島第一原発の汚染水の海洋・大気放出に反対する意見書

審査の結果、全委員異議なく全議案・陳情について原案の通り可決・採択すべきものと決しました。

第422回議会（9月）定例会議案 賛否表

○は賛成、×は反対、退席の場合は退、欠席は欠、議長裁決以外は議の表示

9月議会	議案名称等	議員名 可否	芳賀	関根	高久	藤井	堀井	鈴木	富永	三村	加藤	鈴木	青山	熊田	安井	角田
			慎也	貴将	美秋	源喜	成人	浩一	創造	正一	宏樹	隆司	英樹	宏	敬博	秀明
発議	第7号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案	第36号	矢吹町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案	第37号	矢吹町立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案	第38号	矢吹町営住宅等条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案	第39号	矢吹町複合施設条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案	第40号	第6次矢吹町まちづくり総合計画後期基本計画について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案	第41号	令和2年度矢吹町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案	第42号	令和2年度矢吹町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案	第43号	令和2年度矢吹町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定	第1号	令和元年度矢吹町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	議
認定	第2号	令和元年度矢吹町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定	第3号	令和元年度矢吹町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定	第4号	令和元年度矢吹町土地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定	第5号	令和元年度矢吹町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定	第6号	令和元年度矢吹町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定	第7号	令和元年度矢吹町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定	第8号	令和元年度矢吹町水道事業会計決定認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
同意	第16号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
諮問	第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
発議	第8号	福島第一原発の汚染水の海洋・大気放出に反対する意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

賛否表



芳賀 慎也 議員

「人にやさしいまちづくり」 高齢者福祉の充実について

答 様々な計画に基づき施策を推進する

芳賀 高齢者が元気に安心して暮らすために、生涯、心身ともに健康で、生きがいや楽しみのある生活を送り、介護が必要になっても尊厳を持ち続けられるまちづくりを進めるための具体的な町の取り組みは、
町長 平成30年3月に第8次矢吹町保険福祉計画、矢吹町第7期介護保険事業計画を策定。これに基づき高齢者施策を推進し、地域サロンや介護予防講座等、介護防止につなげている。また、要介護状態となっても尊厳を守る取り組みとして、高齢者、認知症の方の権利擁護のため町の各種団体が連携し、家族等からの相談に迅速な対応を行い、虐待防止や成年後見人制度の利用につなげている。
芳賀 超高齢化社会を迎えるにあたり、今後さらに増えてくるであ

町政を問う（一般質問）

矢吹町学校運営協議会

（コミュニティスクール）の目標は

答 協働体制を構築していく

ろう高齢者の独り暮らしの方への見守りや認知症予防等の支援は、町長 民生児童委員により定期訪問活動や日常的な支援、相談を行っている。
芳賀 高齢者で移動手段を持たない方々のための行き活きタクシー事業があるが、700円までは本人負担であり、料金が高いとの声もあるが、料金の見直しは検討出来ないか。
まちづくり推進課長 町民の公共交通のニーズをアンケート等を実施し検討してまいりたい。

芳賀 コミュニティスクール（以下CS）とは学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めるものであるが、第6次矢吹町まちづくり総合計画後期計画の施策にも掲げられており、今後の具体的な目的・目標、また学校の教育課程とどのように関連づけていくのか伺います。

教育長 CSの目標として「地域とともにある学校への転機」テーマに基づいた実践体制の構築」「地域学校協働本部との連携した学校支援活動」の3つである。今後、こ



コミュニティ
スクールパンフレット

の取り組みをどのように地域に広げていくかが課題であるが、できることから協働を始めることで、徐々に多くの人が関わる協働体制を構築していく。教育課程との関連については、CSには校長が作成する学校運営の基本方針を承認するという大きな役割があります。
芳賀 CSは学校と地域住民が連携・協働して取り組んでいくものとなるが、地域住民の



その他の質問事項
・放課後児童クラブについて

待機児童問題について

答 今後最優先で取り組む

関根 平成29年度に町の全ての保育園が民営化されてから待機児童数は増え、今年8月1日現在での待機児童数は39名とのことですが、

待機児童問題に悩み苦しむ家庭が一件でもあってはなりません。来年度以降の対策は？
教育長 来年度0歳児から2歳児の保育需要の見込みは供給量を上回っておりますが、保育場所の拡大に取り組む、また、新たな小規模保育事業所を来年4月の開設に向けて準備

を進めております。同時に保育士の確保が必要となります。

関根 保育士不足は当然ばかりでなく全国的な問題でもあり、原因として労働に対する対価が見合わないという理由が多いそうです。将来の矢吹町の宝である子供達を育む業務に携わる幼稚園教諭や保育士に対し賃金の引き上げ等、町独自の処遇改善のお考えはあるの

かお尋ね致します。
教育長 現在、町の全ての民間保育施設が、処遇改善等加算を受け保育士の賃金改善をおこなっており、町の保育士支援制度も活用しながら保育士が働きやすい環境となるよう取り組んでおります。町独自の処遇改善につきましても、賃金改善状況や周辺自治体の動向等を踏まえながら検討を重ねてまいります。

町長 令和2年4月時点で67施設に対し42の団体が指定管理者となっており、民間のノウハウを活用することで町民サービスの向上が図られ、また、経費削減となること等がメリットであると考えており、一方デメリットは、指定管理者の固定化に伴う業務運営の硬直化や撤退した場合の運営休止な



どが考えられます。

関根 経費削減が図られ、チェック機能も働いているとのことであるが、住民の健康増進及び交流の場として機能している施設において、町主導での運営であった時は2500万円弱で済んでいた経費が、今年度約5000万円税金が使われようとしている現状は町民が納得のいくチェック機能とは到底思えないが、ご答弁願います。

指定管理者制度について

答 サービス向上を目指し適正な管理運営に取り組む

関根 指定管理者制度による業務委託を行っている施設数と受託事業者数をお示しいただき、公営から民営へのメリットとデメリットをお伺い致します。

町長 多くの愛用者がいる一方で、コストがかかり運営業者側も大変苦しんでおります。近隣市町村で経営状態の悪化から既に休止状態である施設もあり、どのような形で折り合いをつけていくか検討しているところです。

その他の質問事項
・税金などの納入方法について



関根 貴将 議員



魅力ある農業の将来像は

答 現場を歩いて、相談し明るい農業に変える



とみなが 富永 とうぞう 創造 議員

富永 本町の農業がどうあるべきか、町長の見解を伺う。

町長 一点目に地域の中心的な担い手の確保と育成、二点目に計画的な「ほ場整備」の推進、三点目に共同で行なう集落営農と農業生産法人推進による仕組みづくりの構築などを重点的に行なう。

富永 農業の積極的規模拡大ができる、手厚い支援を資金面から再考できないか。

町長 国や県の補助事業を活用し、JAや農業団体から要望に応え



三神小学校の「田んぼの学校」の様子

た支援を図り、今後手厚い支援策を構築できるとの調査研究を重ねます。

非常にやる気がある、経験と能力がある仲間が居り、それらに対し融資をすることは非常に大きな力になると考えています。

富永 地元有機米を積極的に学校給食に提供できないか。

町長 量の確保および安定的供給の難しさがあります。調理実習などで試験的に食す機会を作りたいと考えています。

町政を問う（一般質問）

地域資源の「袖ヶ館城跡」の活用は

答 国で認定されれば整備が可能

富永 「袖ヶ館城跡」は、本町の誇れる史跡文化財であるが、町は文化財の保護活用を考へられないか。

教育長 「文化財保存活用地域計画」を策定して、国が認定すれば、袖ヶ館城跡の整備について国の補助を受けることができます。

計画の策定を文化財保護審議会や関係機関等と検討します。

富永 本町の講師や若手の教員を対象にした「さわやか研修会」があるが、室内から外に出て、「さわやかな田園のまち矢吹」を直に体験できる、町内視察を兼ねた研修内容を取り入れてはいかがか。教育長 町内の自然や歴史、文化を学ぶこと



袖ヶ館城跡

は、地域を知ること、

愛着をもつこと、教師の指導意欲の向上に寄与する取り組みであり、さらなる研修内容の充実を図ります。

富永 小学生、幼稚園、育児サークルの子供や保護者が楽しめる自然体験活動の導入を促すために、活動を支

援する考えは。

教育長 郷土の美しい自然や貴重な史跡を直に体験することは、子供たちにとって、郷土愛とともに豊かな感性を育む素晴らしい経験になると思われますので、今後も安全面に配慮しながら推進します。

放射性物質濃度の軽減を図る事業について

答 今後も検査の結果を注視し

安全・安心な農業を推進する

高久 田内地区内の三ヶ所のため池について、どの程度の濃度まで下がったか。

町長 入の沢池では、1400ベクレルから100ベクレルとなり、低減率が99%。長

命池では1300ベクレルから200ベクレルとなり、低減率が

98%。子八清水池では1200ベクレルから

400ベクレルとなり、低減率が96%。

高久 9年以上経った今、なぜ、浚渫工事になったのか。

産業振興課長 最初のため池の調査を平成24年度から行って、濃度が高い池があって、各市町村から県・国に要望が上がり、30年度に実践対策を行った。

高久 田んぼの濃度は、大丈夫なのか。

町長 平成24年度に、柿之内・田内において約118ヘクタールの水田について、放射性物質の低減対策を実施した。田内地区で0.45マイクロシーベル

トから0.43マイクロシーベルトに低減し、柿之内地区では、0.35マイクロシーベルトから0.32マイクロシーベルトに低減した。現在は、0.1マイクロシーベルト程度になっている。

高久 矢吹地区のほかに、ため池の汚染濃度は、大丈夫なのか。

町長 平成30年度まで調査は続けられたが、基準を超えたため池は確認されていない。



しゅんせつ 浚渫工事

ツツジロードの管理体制について

答 適切に管理をお願いしたい

高久 2区行政区と矢吹町区長会が、なぜ、事業を請け負うようになったのか。

まちづくり推進課長 県うつくしま基金を利用して、ツツジロードが始まった。平成28年に植樹をして、平成29年から区長会で協議会の補助金を頂きながら、平成29年から30年に実施した。

高久 補助金が出ている2区と区長会が管理するのか。

まちづくり推進課長 土地管理は矢吹原土地改良区であり、確認いただきたい。

高久 矢吹原土地改良区ではツツジを植える段階で「管理を任せられるなら許可しなかつ

た。」との返答だが、町の管理になっているのではないかと。

まちづくり推進課長 矢吹原土地改良区に植えさせてもらったツツジの管理は町の責任と認識している。

高久 このツツジロードは、開拓ロードの補助金を使って整備しており、管理は町が責任を持つべきではないか。

産業振興課長 それぞれの所有者に管理していただくことが原則であり、産業振興課・農業委員会として、適切な管理を今後、お願いしていきたい。

その他の質問事項

・コロナ対策について



ツツジロード



たかく よしあき 高久 美秋 議員



藤井 源喜 議員

「道の駅推進事業」今後の予定は！

〔答〕 後期基本計画へは位置づけず凍結

藤井 道の駅推進事業については、期待した人、必要を感じない人がいると思うが事業廃止としたのはどのような理由か。

町長 平成28年度から「道の駅やぶき地域協議会」が設置され調査が行われているが、候補地は決定しておらず、国道4号4車線化の協議も今後具体的に進められる。選挙公約において、道の駅等公共事業の再点検を行うことを掲げており、総点検ができていない現在の状況では、立ち止まる必要があると考え、後期基本計画への位置づけを見送り、凍結する。

藤井 新規事業として計画されている「(仮称)新田園都市構想事業」とはどのようなものか。



町政を問う (一般質問)

後期基本計画と職員体制の管理

〔答〕 条例定数の範囲内で適正に調整

町長 これからのまちづくりには、矢吹町の可能性を見出す青写真が必要であると考えている。農業政策では、担い手の高齢化と後継者不足、農業施設の老朽化などの課題がある。若者が当該地区から離れていることから、働く場の確保として企業誘致を積極的に進めたい。旧総合運動公園用地も含めて、町内全域に目を向け50年後、100年後を見据えた、新しいまちづくり、新田園都市づくりをしたい。

藤井 職員の年齢別構成によると、22〜24才では女性が2名、53〜57才では女性が4名で男性職員が0名の状況があり人事配置が難しいと思われるが、令和3年度の職員採用人員はどうか。

町長 人事配置にあたっては性別にかかわらず、主事、主査等の職位による構成と職員の適性、自己申告シートによる希望確認、育成のための人事サイクル等を勘案し、人員配置を行っている。令和3年度の職員採用候補者試験は広報やぶき9月号及び町ホームページに記事を掲載し「若干名」としている。

藤井 後期基本計画によって職員の増減は発生するのか。必要職員数はどのように管理しているのか。

町長 常勤の職員数は、矢吹町職員定数条例において、町部局、議会事務局、教育委員会部局、選挙管理委員会事務局、農業委員会事務局等、部局ごとの定数を定め、全体の職員数として170名と定められている。旧臨時職員、一般職非常勤職員は令和2年度から会計年度任用職員として任用し、条例定数には含まれない。主要事業に係る人的・組織的な課題を把握し、適正な人員数を検討していく。職員数を決定している。

職員の課の人数

課名	企画総務課	まちづくり推進課	税務課	総合窓口課	保健福祉課	産業振興課	都市整備課	議会事務局
職員数	17	12	13	6	19	16	22	2
課名	教育振興課	子育て支援課	矢吹幼稚園	中央幼稚園	中畑幼稚園	三神幼稚園	白河広域圏	計
職員数	17	8	5	6	5	4	2	154

その他の質問事項
・コロナ禍でのITCを用いたサービス

交通弱者に対する町の対策は

答 行き活きたクシー事業を実施

鈴木(浩) 交通弱者に
対する町の対策につ
いて伺います。

町長 今後の高齢化社
会を踏まえまして、高
齢者による運転免許証
の自主返納者は増えて
くることが予想される
ところでありまして。運
転免許証を持たない、
いわゆる交通弱者のた
めの公共交通政策とし
て、平成31年2月から
行き活きたクシー事業
を実施しております。

今後、運転免許証
を返納する高齢者の日
常生活をサポートす



すずき 浩一 議員

る、足を確保するとい
うことで広くPRして
まいります。今後は高
齢者の方が多く集まる
いきいきサロンやこと
びぎ大学等での事業P
Rや周知活動を強化し

まして、より多くの
方々に利用してもらえ
るよう努めてまいりま
す。

様式第6号(第4条関係)

【注意事項】

- ①乗車時にタクシー運転手へ本証をお渡しください。
- ②月の利用可能回数は4回までです。余った分を翌月に繰り越すことはできません。
- ③目的地でタクシーを待機させることは、出来ません。
- ④目的地までの間に他の場所への経由は、出来ません。
- ⑤利用料金700円まで利用者負担になります。700円を超えた分は町で助成します。
- ⑥介助等の目的で同乗できる方は1名までです。
- ⑦運行時間以外の利用は、助成の対象となりません。
- ⑧不正利用が発覚した場合は、助成利用分を請求しますので、御了承願います。

様式第6号(第4条関係)

行き活きたクシー利用登録証

登録No.	氏名	矢吹 太郎
1	住所	一本木101番地
有効期限	令和3年3月31日	
令和 2 年 4 月 1 日		
矢 吹 町 長 印		

乗り降りできる場所は次のとおりです。

①自宅	⑥JR矢吹駅
②公共施設	⑦冠婚葬祭会場
③商店等	⑧(①～⑦は町内のみ)
④金融機関	⑨矢吹泉崎バスストップ
⑤医療機関	(東北道高速バス停留所)

用日 で利用可能)									
11月	/	/	/	/	/	/	/	/	/
12月	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1月	/	/	/	/	/	/	/	/	/
2月	/	/	/	/	/	/	/	/	/
3月	/	/	/	/	/	/	/	/	/

利用方法

- ①矢吹タクシーへ連絡
- ②乗車時に登録証を運転手へお渡しください。
- ③降車時に登録証を運転手よりお預かりください。

自宅から目的地までの利用で1回となり、往復の利用は2回となります。

行き活きたクシー利用登録証

障がい者のための支援策、施策について

答 ニーズを的確に捉えた サービス提供体制を整備する

鈴木(浩) 障がい者の
ための支援策、施策に
ついて伺います。

町長 過去の計画の検
証としましては、前期
計画期間における実績
を分析、評価し、第5
期障害福祉計画及び第
1期障害児福祉計画の
期間における障害福祉
サービスの見入量を算
出してあります。な
お、次期計画である第
6期の障害福祉計画及
び第2期障害児福祉計



画の計画期間は令和3
年度から令和5年度と
なっており、今年度中
の策定に向け、現在、
鋭意取り組んでいると
ころでございます。

ニーズを的確に捉え
たサービス提供体制を
整備し、障害の有無に
かわらず、誰もが住
み慣れた地域で、安心
して生活ができるよう
障害のある方等に寄り
添った支援をしてまい
ります。



みむら まさいち 三村 正一 議員

まちづくり矢吹への派遣は 条例違反では

答 地方自治法に基づく職務命令による

三村 6月議会で一般社団法人まちづくり矢吹は、公益的法人ではないことが確認されたが、派遣に関する条例に違反していないか。

町長 派遣することができない為、自立できる間、支援が必要との判断から職務命令により勤務させている。

三村 まちづくり矢吹で勤務させることができる条例はあるのか。
企画総務課長 条例はない。職務命令により勤務させている。

三村 条例にないことを職務命令で勤務させることができるのか。
企画総務課長 条例に

なくとも、自治法に基づき職務命令を出す事は出来ると解釈している。

三村 派遣の職員を使うより、会計年度任用職員として従事して頂いた方が少ない費用であることを認知しながら、多額の費用がかか

町政を問う（一般質問）

る派遣会社を使うことは背任行為ではないか。

町長 業務委託と直営での費用を単純に比較すれば、短期的には業務委託の方が管理費相当分の差額が発生する試算がある。民間委託により職員が業務に専念でき、町民福祉の充実につながる。

三村 今までは、会計年度任用職員にすると10年間で8億円の負担増になるので、民間委託するという説明をしてきたが、今度は負担が増えるもそちらに頼むという説明には納得できない。
企画総務課長 これまでと違う内容で町長も答弁したことではないと思う。総点検の中で、精査していく。

三村 町教育委員の監査就任の調査結果について。
町長 総務省から、兼

業禁止に該当するかどうか

職員の定員適正化計画について

答 適正に職員採用を行っている

三村 平成27年度は132名の正職員でしたが、平成31年度は150名となっております。仕事量に合わせた職員を確保すべきと考える見解を伺う。

町長 事務事業の効果的・効率的遂行に必要な人員を検討し、必要最小限の人員確保し、業務量と人員の最適化と理解している。

三村 平成30年度の計画148名で150名、31年度が156名となっている。どのような事業が増えて6名増となったのか。

三村 いくつかの決定は選任権者が行うもの、長の決定権であると回答あり、対応については今後検討させていただきます。

企画総務課長 各事業

の状況・業務量に合わせた中で適正に職員採用を行っている。各課とのヒアリング等により業務量を精査した上でやっている。

三村 令和2年度職員数の実績は。
企画総務課長 154名である。

三村 会計年度任用職員と派遣社員の資料では会計年度任用職員の方が一名当たり42万円上昇する試算であるが内容を伺う。

企画総務課長 期末手当と社会保険料である。

三村 聞き取りでは、昨年度所得から期末手当を給料から差引いて、減額して期末手当で清算する方法と伺ってきたが、認識を伺う。
企画総務課長 昨年度

同様、現給保障で行っている。先程の資料

は、将来的な見込みであるので、現在の方の比較ではない。

三村 期末手当の42万円は今年払うのか。会計年度任用職員は1年単位で更新のほすですが、今後の事まで入れて計算したというが、算出の根拠が薄いのではないか。

企画総務課長 資料の包括業務委託料の表は、包括業務と会計年度任用職員の場合で試算したもので、現在の状況ではない。

その他の質問事項
・農業の現状と今後の振興策について
・農業振興マスタープラン策定について
・ライスセンター設置について

まちづくり矢吹に町として社員になれたのでは

答 町が社員になれる

加藤 矢吹町長として印鑑証明が発行されないで前町長個人で登記するほか無かったと答弁しているが、定款認証の際矢吹町として認証すれば町が社員になれたのでは。

町長 公印証明書で法人として町が社員になれると回答を得た。

加藤 設立に際し、いつ、どこで、誰が、誰に、何を相談したか。



まちづくり矢吹事業所

町長 令和元年4月末に雇用労政官が福島地方法務局に町が設立時社員になることの相談し、「個人での登記となる」との回答であったが、再度確認したところ、「電話での軽易な相談は記録が無いので誰が対応したか不明」と回答があった。

加藤 会社設立に主に

携わったのは、雇用労政官S氏か。企画総務課長 そつです。

加藤 社員として矢吹町で登記出来ないの以前町長個人での登記は間違っていたか。

企画総務課長 当時の確認が不十分であり、お詫び致します。

公民館を総決起集会等に使用できたのではないか

答 総決起集会でも貸し出せる

加藤 令和元年12月23日、令和2年2月26日の教育長及び職務代理者の回答は正しいか、誤りか。

町長 平成30年12月21日の文科省事務連絡により社会教育法第23条1項の条文に関して、総決起集会等でも貸し出せると解釈できる。当時の運用は古い考えや社会情勢による解釈で誤りであったと考えられる。



中央公民館

法解釈の相違によりご迷惑をかけたことに深くお詫び致します。

加藤 今後の運用はどの様に対応するのか。

町長 団体の活動内容を真摯に伺い、法の趣旨を十分に確認し運用する。

加藤 令和2年2月26日の教育長職務代理者M氏の回答は弁護士と相談の上とあるがその弁護士とは誰か。

町長 法律相談は町顧問弁護士です。

その他の質問事項
・ 駅エレベーター設置について
・ 歩道整備について
・ 町巡回バス等について



加藤 議員

町政を問う(一般質問)



堀井 成人 議員

防災災害対策について

【答】 減災対策協議会で取りまとめられた ソフトとハードを含めた治水対策

堀井 阿武隈川緊急治水対策プロジェクトが立ち上がりました。町の考えをお伺いします。

町長 阿武隈川緊急治水対策プロジェクトについてですが、本プロジェクトは昨年の台風19号での豪雨災害を受けて、国土交通省、気象庁、福島県、流域自治体での阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策での、遊水地計画であります。大規模事業であることから、国に対して、丁寧な説明を再々強くお願いしたところであります。堀井 国土交通省では、遊水地事業に約10年とっており、この間にも台風や大雨による大規模な災害が予想されます。通行止めや、土のう袋の資材を事前に浸水想定地域に配備をお願いしたいが、町の考えをお伺いします。

町政を問う（一般質問）

まちづくり推進課長 資機材

については、通行止めのバリケード、土のう袋など今年度も新たに購入し、事前に浸水想定地域へ配備を考えております。

堀井 遊水地計画は、大規模な事業です。町としても体制の充実を検討していただきたい。都市整備課長 遊水地事業ですが、阿武隈川緊急治水対策プロジェクトでは、約一十億円と、非常に大きな事業費で計画されており、今後のスケジュールに合わせて、町として十分な体制を作っていくたいと考えております。堀井 昨年の台風19号では、上流の谷中、明新地区でも堤防が決壊しました。連携した治水対策が出来るのか、国と県へ町から要望してほしいが、町の考えをお伺いします。

新型コロナウイルス感染症対策について

【答】 避難所開設等について

行政区の協力をいただく説明を行う

堀井 新型コロナウイルス感染症対策の中で、大災害で避難勧告が出た場合の避難訓練について

町長 避難訓練の実施ですが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、避難所を開設し、避難スペースの確保などの避難訓練を行う行政区の協力を頂きまして開催を予定しております。

都市整備課長 住宅については移転を余儀なくされますが、国としては特に住宅地に関しては、責任を持って対応します。農地については、農地中間管理機構を活用し国と連携し、進めていきます。



新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた職員による避難所開設訓練の様子

新田園都市構想事業とは何か

【答】 50年後、100年後を見据えた

新しいまちづくり

安井 第6次まちづくり総合計画後期基本計画案の中で、5つの重点プロジェクトの一つとして示された本事業だが、旧総合運動公園用地などに大規模な開発等を伴う印象を受けるが、どうなのか。

若い人が矢吹町をどんどん選んでもらう条件を整えることが非常に大切で、雇用機会をつくる、また、財源を整えて、例えば高齢者や障がいのある方への様々な施策をすることといった考えです。一つの地域を開発する目的ではございません。

安井 住民の意見を取り入れて、合意形成することが大事だが考えは。

町長 新田園都市構想についてイメージを出し、基本的な事は広報やぶきやホームページでお知らせし、様々な声を聞きたいと思えます。



やすい たかひろ
安井 敬博 議員



矢吹駅のバリアフリー化を

【答】 利用する全ての方々が安心して

利用できるような環境整備に努めてまいります



矢吹駅

安井 高齢者や障がい者をはじめ、様々な立場の方から、矢吹駅ホームへのアクセスへの不便さが訴えられている。障がい者の自立と社会参加への支援ニーズの増加や高齢化が加速する中で、矢吹駅のバリアフリー化が急がれる。エレベーター等の設置等の検討はしているのか。

町長 平成28年3月に公共施設等総合管理計画を策定し、今後矢吹駅を含めた公共施設の改修の際には、ユニバーサルデザインの視点に立ち、バリアフ

リー化改修を行う方針です。

安井 JR東日本へエレベーター設置要望はしているのか。

町長 県と県内市町村で構成する福島県鉄道活性化議会を通じて毎年行っています。

安井 先ずは観光案内所協の1番線ホームのフェンスを開放するなど、費用をかけずに行うこともできるのでは。

産業振興課長 ホームに関係することであり、JRとの協議も必要になると思います。解決のために様々な視点で検討してまいります。

その他の質問事項
・図書館の運営管理について

町政を問う(一般質問)



あおやま ひでき
青山 英樹 議員

「黒字でゆとり(?)」の 財政運営は本物か？

答 財政状況、潤沢であるとの認識は持っておりません

一般会計財政収支の状況 (千円)

区分	令和元年度	平成30年度
歳入 ①	9,514,087	8,358,530
歳出 ②	8,310,254	8,048,909
形式収支①-②③	1,203,833	309,621
翌年度に繰越すべき財源 ④	661,605	137,670
実質収支③-④⑤	542,228	171,951
前年度実質収支⑥	171,951	205,632
単年度収支 ⑤-⑥⑦	370,277	△33,681
基金積立額 ⑧	1,306	880
繰上償還金 ⑨	79,953	99,069
基金とりくずし額 ⑩	0	92,910
実質単年度収支 ⑦+⑧+⑨-⑩	451,536	△26,642

青山 令和元年度決算では実質収支比率12・1%、5億4千2百万円の黒字となり過去に例のないゆとりある財政となった。例年赤字であった単年度収支、実質単年度収支も黒字となり、数値的には評価できるものかと思うが、実際の運営からはいかがな所感をお持ちか伺う。

企画総務課長 交付税措置として予想以上の多い特別交付税が交付されたためであり、財政状況、潤沢との認識はない。

青山 多くの自治体は実質公債費比率が1桁だが、当町はそうでなく低空飛行をしてきた。今回財政上の数値としてゆとりある結果が出てきたが、今後の財政運営もこれが続くのか示されたい。

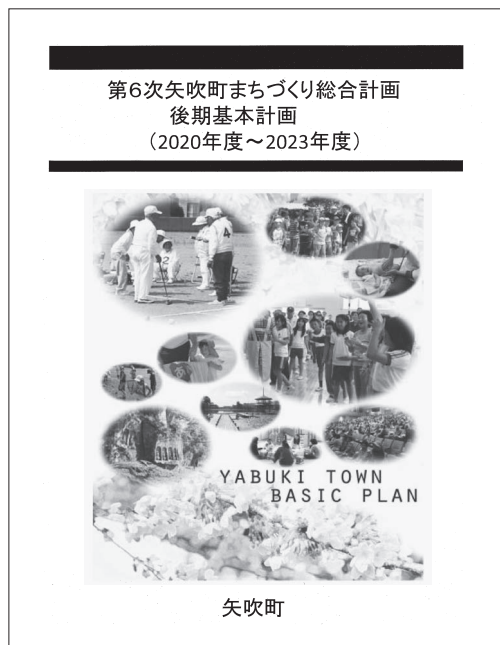
企画総務課長 まちづくり総合計画の後期計画実現に向けた財政運営やコロナ対策などを見極め、何を選択し、何に集中するかを考えた。財政運営健全化に努めたい。

町政を問う (一般質問)

「総合計画」への住民参画を！

答 丁寧なパブリックコメントを行い、後期基本計画の事務事業に反映させる

青山 町の最上位計画である「まちづくり総合計画」の策定に関して、住民参加が少ないのではないかと。近年「自治体3・0」が注目をされる。住民に汗をかいてもらう「協働」を加えて協力してつくる「協創」を取り入れ、みんなの課題として、みんなの責任の下にみんなが解決に向かっていくよう住民をどんどん参画させていく手法である。総合計画の策定でも上意下達的なことではなく「エレベータを駅に設置してほしい」といった町民の要望が、総合計画に具体的に現れてこないのが実態である。このように住民自治が総合計画



に反映されないのかどうか尋ねる。

企画総務課長 協働で住民と一緒にやっていく姿勢は大切である。住民自治、団体自治両面の融合がまちづくりの理想と考える。今後ともこのような考えを基に、町民に説明し出

来る限り参加して頂き、共に支え合ってください。きましょつという意識の醸成を図りたいと思う。

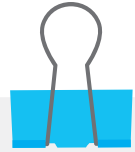
町議会

トリチウム放射性汚染水の放出 反対意見書を国に提出

放射性汚染水の海洋・大気放出は、東日本大震災と原発事故からの復興に頑張ってきた福島県民の努力を踏みにじるものであり、新たな風評被害、偏見や差別が再燃し、県民に重大な影響を及ぼすもので、断じて容認できません。

よって、福島第一原子力発電所の放射性汚染水の海洋及び大気放出は行わないことを要望する。

議会だより 読者の声



議会だよりの編集に関して、より分かり易い、充実した広報内容になるよう、町民から6人のモニターが委嘱されています。前回の第188号やぶき議会だより、その出来具合をアンケート形式で、モニターさんから助言・評価していただいたものを読者の声として今回、要約掲載しました。

評価：A・B・C・D・E 好感度、読みやすさ、分かりやすさを示す
Aが最も良く Cが普通 Eが分かりにくい

●第188号の評価がB 6人中2.7人、次にC 6人中2.1人に集中するという結果でした。
まずは目標Bの6人中4人以上を目指します。(編集委員から)

●各ご意見の要約

- ①具体的な金額等の表示が望ましい。
- ②初見でも分かり易い議会だよりの編集をお願いしたい。
- ③年に1度くらい、小・中学生が議会に興味を持てる内容を掲載しては。
- ④活動があまり知られていない人やグループを表紙写真に。
- ⑤表紙写真は季節感、人、場所を印象づけるように。
- ⑥乖離、詭弁などはわかりやすい言葉に変えて表記してほしい。
- ⑦読むのが大変、少ない文字数、大きな文字で。

編集委員から

○これらの評価やご意見の積み重ねを大切に受け止めながら、より読みやすい編集内容につながるよう誠心誠意努力してまいります。
多くの町民の読者皆様の声をお聞かせください。



阿部 正榮 氏
大和内

国民の人権侵害を監視・是正し
人権思想を広める仕事をします。

人権擁護委員



後藤さとみ 氏
根 宿

教育委員会委員

次回議会のご案内

12月定例会

12月4日(金) 午前10時開会

一般質問

12月7日(月)・8日(火)

午前10時予定



●9月議会(第422回定例会)の傍聴者は計22名でした。
ありがとうございました。

議会傍聴はどなたでもできます。

申込みは不要です。直接役場3階議場へおいでください。
詳しくは町議会事務局にお問い合わせください。

TEL : 0248-42-2118

E-Mail : gikai@town.yabuki.fukushima.jp

町ホームページから



議 会



日 程

(議案・一般質問のあらまし)

次回は
12月3日より
確認可能

編集後記

色彩あふれる紅葉の美しさと、澄みきった空の青さに心がはびきり季節となりました。

この度の9月議会定例会では、11名が登壇し、そのうち新人議員6名も全員己の政策等を一般質問に託し、執行部側へ今夏の猛暑のごとく熱く訴えさせていただきました。

議員それぞれの色を持ち寄り、町民の皆様の笑顔溢れる幸せな田園都市矢吹町を描いていきたいという想いを議会広報から感じ取っていただければ幸いです。

(文責 関根貴将)

議会広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 富永 創造 |
| 副委員長 | 関根 貴将 |
| 委員 | 藤井 源喜 |
| 委員 | 鈴木 浩一 |
| 委員 | 高久 美秋 |
| 委員 | 芳賀 慎也 |